



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
電話 03-5315-0941
2021年1月20日
第719号



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



21春闘のたたかいへの土台を固めよう！

2021旗開き

1月6日、本部会議室において「2021旗開き」を開催しました。新型コロナウイルスの感染防止のために参加規模も縮小した上でテレビ会議システムを活用して短時間で開催し、さらには新春祝賀会を中止しました。

中央執行委員長あいさつ、決意表明、問題提起(4面を参照ください)を行い、21春闘のたたかいへの土台づくり、6月の定期大会までの組織強化・拡大のたたかいについて意思統一しました。

コロナ禍で厳しい社会状況ではありますが、「感染しない・させない」を継続し、職場活動を強化して明るい職場をつくり出していきます。そして「JR東労組緊急提言」を実践し、仲間と共に組織強化・拡大をしていきましょう！

私にとってJR東労組を明確にし、職場活動の強化を通じた組織強化・拡大にすべての力を注ぎ、私たちの未来を確かなものにしよう！

2021旗開き あいさつ(要旨) 中央執行委員長 佐藤英樹

■分会活動・職場活動の強化を通じてJR東労組の信頼を勝ち取り、組織強化・拡大を実現しよう！

9月9日に緊急提言を提出し、約4カ月が経過しましたが、単なる黒字経営をめざすということではなく、自分にとってのJR東労組を確定させ、否定的な現実を突破することが大きな課題です。各分会でも様々な実践をしています。結果を出すことが実践ではなく、実践を評価して前に向かうことです。そして組織拡大に向けては、一人で実践することではなく、分会組織として実践することも大切だと学びました。組織拡大について、どうしたら結果が出るのかなど、悩みを抱える仲間も多いと思いますが、役員や組合員には、それぞれ個性や特徴があります。それぞれの役割を考えて、分会組織全体で組織強化・拡大を実践することが重要です。組織強化・拡大に向けて土台づくりをするためにも、レポート議論や実践を共有する議論を深めていきたいと思います。レポートは反省文ではありません。これまでの実践を振り返り、実践を教訓化して次のステップに移行するために、現状と課題を確定する上で大切なことです。

■JR東労組を取り巻く現状を認識しよう！

新型コロナウイルスは、変異株も報告され、収束の見通しは立ちません。私たちは「感染しない・させない」をJR東労組として引き続き努力していきます。年末年始輸送も厳しい状況でした。JR東日本単体で黒字にならないければ、私たちの生活が厳しくなります。引き続き緊急提言の意義や黒字経営に向けた創造的な議論を通じて、組合員と危機感を共有し実践することが重要です。

■21春闘をJR総連に結集する仲間と連帯してたたかい抜こう！

経営環境が厳しい中でも、私たちは生産性向上に協力し、収入を確保することができています。私たちの労働力の価値は高まっていると考えます。会社が利潤を得るためには、労働力の確保は必要不

可欠であり、JR東労組に結集する組合員、労働者の賃金の底上げはコロナ禍だからこそ重要な課題です。

労働界全体としても、要求を掲げることには消極的な流れになっていますが、期末手当は大幅な減額となっており、可処分所得は大きく目減りしています。組合員の生活実感はかなり落ち込んでいますから、コロナ対応など労働の質の向上を踏まえ、生活向上分としてペアを要求して

■21春闘をJR総連に結集する仲間と連帯してたたかい抜こう！

経営環境が厳しい中でも、私たちは生産性向上に協力し、収入を確保することができています。私たちの労働力の価値は高まっていると考えます。会社が利潤を得るためには、労働力の確保は必要不

可欠であり、JR東労組に結集する組合員、労働者の賃金の底上げはコロナ禍だからこそ重要な課題です。

労働界全体としても、要求を掲げることには消極的な流れになっていますが、期末手当は大幅な減額となっており、可処分所得は大きく目減りしています。組合員の生活実感はかなり落ち込んでいますから、コロナ対応など労働の質の向上を踏まえ、生活向上分としてペアを要求して

弾圧から19回目の新年を迎えました。水戸地本派遣となって新年を迎えるとは思っていませんでした。

水戸地本では、10月にいわき支部の撤収作業を行いました。組合員が一人もいません。全国キャラバンでも訪れた地なので複雑な思いでした。裏切りは本当に残酷です。しかし、私たちは置かれていない現実から逃げることはできません。社会の本質を見抜く仲間をつくるたたかいをしていかなければなりません。今年も水戸での組織再建に向けて実践をしていく決意です。

美世志会のメンバーはみんな元気です。今年も、厳しい現実の中でも職場で奮闘する仲間と共に奮闘していきます。共に頑張りましょう。



青年部副部長 肥後 直樹

組織強化・拡大の運動を前進させるために、あらゆる運動や場を通じてJR東労組へ再結集を訴える仲間をつくることをめざし、多くの仲間と議論を積み重ねてきました。

青年部として系統別の意見交換会や賃金学習会を開催し、組織強化・拡大における実践の教訓や何に悩んでいるのか共有する場をつくることをめざしています。

様々な議論などを行ってきた中で、青年部の課題は、自分にとってのJR東労組とは何かを明確にし、今自分が何をすべきか構想し実践することだと明確になりました。この課題に向かうためにも、自らの課題を克服し、真正面から仲間と議論を深めていきます。そして青年部員を一人も置き去りにすることなく、全ての仲間と共に運動をつくり出していきます。

決意表明

美世志会 山田 知

